

環境活動レポート

(対象期間: 27年度 平成27年12月～平成28年11月)



作成年月日: 平成29年3月28日
株式会社 山下機械

目次

I. 組織の概要	…	P 3
II. 環境方針	…	P 4
III. 実施体制	…	P 5
IV. 環境目標	…	P 6
V. 環境活動計画と評価及び次年度の取組内容	…	P 7
VI. 環境目標の実績	…	P 9
VII. 当社の取り組み	…	P 11
VIII. 環境関連法規の遵守状況	…	P 12
IX. 経営者による全体評価と見直し結果	…	P 13

【その他添付資料】

- ・環境上の緊急対策
- ・環境コミュニケーション受付表
- ・問題の是正及び予防処置

I 組織の概要

1. 事業所名及び代表者名

株式会社 山下機械

代表取締役社長 山下 勉

2. 所在地

名称	所在地	延床面積	備考
本社工場	静岡県沼津市足高427番地の1	1215.4㎡	今回の認証対象

3. 環境管理責任者、事務担当者の氏名及び連絡先

環境管理責任者 小野田 貴彦

TEL 055-927-3210

事務担当者 高橋 秀夫

E-mail yamashitakikai@minos.ocn.ne.jp

4. 事業活動

銅製品の加工、その他金属製品の加工

5. 事業規模

項目	平成29年3月28日現在
売上高	606.389百万円
従業員数	全社30名

6. 事業年度

11月1日～翌年10月30日

7. 認証・登録の対象範囲

活動; 全事業活動

対象組織; 本社工場

Ⅱ 環境方針

株式会社 山下機械 環境方針

[環境理念]

当社は、全従業員参加の下、社会の責任ある一員として
地球環境の保護活動及び維持向上に努める。

[基本方針]

当社の事業活動による環境影響を評価し、環境負荷の低減に向け、環境活動の継続的改善に努める。

1. 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量等の削減に努めます
1) 電気、軽油、ガソリン等の使用量削減に努めます
2) 節水活動による水使用量の削減に努めます
3) 化学物質の適正使用に努めます
2. 環境関連法規制等の遵守
環境関連法規制を遵守します
3. 環境に配慮した製造活動
1) 事務用品や原材料等のグリーン購入に努めます
2) 環境に配慮した製品作りを推進します
4. 環境コミュニケーションの実施
1) 社内においては、全従業員に環境方針を周知し、全社員参画による取組を目指します

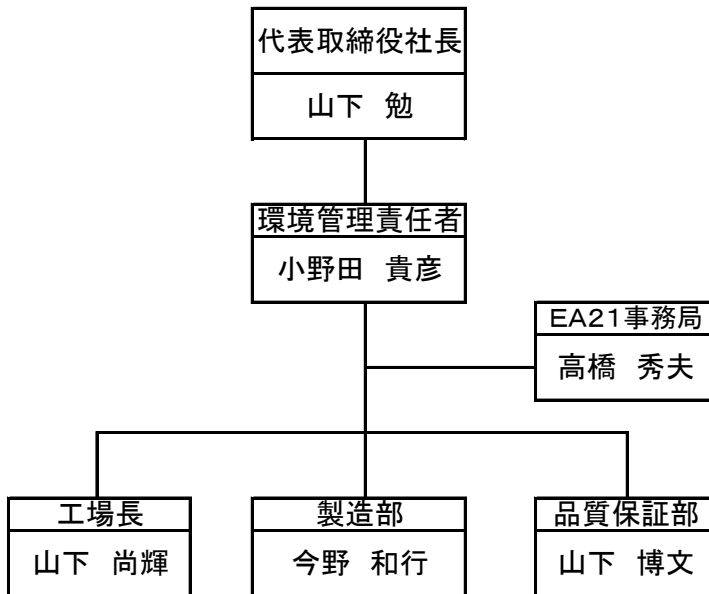
制定年月日 平成27年 8月 26日(初版)

株式会社 山下機械

代表取締役社長 山下 勉 印

Ⅲ 実施体制

平成29年3月28日 現在



<関係者の権限と役割>

社長

- ①環境経営全般に関する責任と権限
- ②環境経営に必要な資源の準備
- ③環境経営システム全体の評価と見直し
- ④環境管理責任者の任命

環境管理責任者

- ①環境経営システム全般の運用・管理
- ②環境目標及び環境活動計画の作成
- ③取組状況の社長への報告
- ④環境活動レポートの作成

EA21事務局

- ①環境負荷データ等の集計
- ②環境目標・環境活動計画の進行管理
- ③「環境負荷」及び「環境への取組」の自己チェックの実施
- ④環境管理責任者へ取組状況の報告
- ⑤法規制の遵守状況チェック
- ⑥文書・記録の管理

各部門長

- ①部門の環境活動計画の実施
- ②部門データの集計
- ③部門の問題点把握と是正対策の実施
- ④部門取組状況の事務局への報告
- ⑤部門の従業員教育

その他の従業員

- ①自分の役割を守りエコアクション21活動を推進する

IV 環境目標

短期・中長期環境目標

環境目標は、平成26年度を基準年とした基準年比とする。

項目	単位	H26年度 (基準年)	H27年度	H28年度	H29年度	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	554,032	-1%	-2%	-3%	
			548,492	542,951	537,411	
	電力	kWh	1016548.0	-1%	-2%	-3%
				1,006,383	996,217	986,052
	ガソリン	L	2198.0	-1%	-2%	-3%
				2,176	2,154	2,132
	軽油	L	1174.0	-1%	-2%	-3%
1,162				1,151	1,139	
灯油	L	2841.0	-1%	-2%	-3%	
			2,813	2,784	2,756	
LPガス	kg	0.0	現状維持	現状維持	現状維持	
廃棄物排出量	産業廃棄物	t	25.5	-1%	-2%	-3%
				25.2	25.0	24.7
一般廃棄物	kg	0.0	現状維持	現状維持	現状維持	
水使用量	m ³	489	-2%	-4%	-5%	
			479	469	465	
グリーン購入（事務用品）	%	—	現状把握	購入品の5%	購入品の10%	
化学物質使用量	Kg	460.5	適正な管理・使用			
環境に関する製品クレーム	件	—	0	0	0	

(注)

- 1) 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、東京電力(H26年度)の「0.53kg-CO₂/kWh」を使用した。
- 2) 「化学物質使用量」の数値目標の設定は困難なことから、定性的な目標とする。
- 3) 「環境に配慮した製品づくり」は、明電舎様グリーン調達基準はずれとする。

V 環境活動計画と評価及び次年度の取組内容

(取組期間:平成27年12月～28年11月)

環境活動項目(平成26年度)		責任者	評価	コメント	今後(次年度)の取組内容
二酸化炭素の削減	エコ・ドライブ	製造部長	○	電気自動車でも、充電回数を減らすため、エコドライブを意識する。	継続
			○		
			○		
			○		
	運転管理等	製造部長	○		継続
			○		
	空調等	社長	○	・エアコンはステッカーを張り、設定温度を毎日確認する。	継続
	工場・事務所	工場長	○	・デマンドコントロールは次年度導入を検討 ・製造工程の見直しは、現在取組の優先工程を選定中	継続
			○		
			○		
			○		
工場長		○			
		○			
工場長		○			
		○			

水 使用 量 の 削 減	洗車時の節水	社長	○		継続
	水もれ点検の実施		○		
廃 棄 物 の 削 減	コピー用紙の両面使用	社長	○		継続
	封筒などの再利用		○		
	廃油(作動油)の削減		○		
リ サイ クル の 推 進	切削切粉のリサイクル	製造部 長	○		継続
	不良品のリサイクル		○		
グ リ ー ン 購 入	グリーン購入の実績把握	社長	○	優先的にエコ商品を購入する。	
	グリーン商品の優先購入		○		
化 学 物 質	使用化学物質のMSDS入手	工場長	○	・現在使用中の物は、全てSDSを入手 ・使用量削減は製品規格の面から困難な 面も多いが、更なる検討を継続	継続
	購入量・使用量の把握		○		
	使用量削減の検討		○		
	購入・保管・使用・廃棄段階の適正管理		○		
環 境 配 慮 製 品		社長		・自社独自の製品作りのテーマ選定を 行っている(製品の使用過程でのエネル ギー削減)。発注先との兼ね合いで独自 目標の設定は困難が予想。テーマの見 直しも視野に入れる。	継続(今後重点項目に設定)
備 考	1) 取組期間の評価は平成27年9月～11月の3ヶ月間の実績評価である。 2) 評価判定は○・△・×の3段階で行なった。 3) <u>活動計画の見直しは、平成27年度(28年11月まで)が終了した時点で行う。(本期間中の見直しは行なわない)</u>				

VI 環境目標の短期実績

前年同期実績をベースに、運用期間(平成27年12月～28年11月)の実績・評価を以下に示す。

	単位	H26年度	H27年度	H27年度	比率	評価	
		12月～11月 実績	12月～11月 目標	12月～11月 実績			
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	554,032	-1% 542,951	538,294	0.97	○	
	電力	kWh	1,016,548	-1% 996,217	987,960	0.97	○
	ガソリン	L	2,198	-1% 2,154	3,046	1.39	×
	軽油	L	1,174	-1% 1,150	886	0.75	○
	灯油	L	2841	-1% 2,699	2,117	0.75	○
	LPガス	kg	0	現状維持	0	1.00	○
廃棄物排出量	産業廃棄物	t	25.5	-1% 24.2	32.5	1.28	×
	一般廃棄物	kg	—	現状維持	—	—	—
水使用量	m ³	489	-1% 479	540	1.10	×	
グリーン購入（事務用品）	%	80.0	現状把握	80	1.00	○	
化学物質使用量	Kg	460.5	現状把握	510.3	1.00	○	
環境に関する製品クレーム	件	0	目標の設定	0	1.00	○	

<原因分析>

- 1) 電力については仕事量が増大し、売上も伸びたが、減少させることができた。
NC旋盤機が2台、マシニングセンタが1台増えたが、昨年度、実施した照明の変更と、節電の意識が高まり、減少させることができたと思う。
- 2) ガソリンについては、仕事量増大のため納品回数等が増えてしまった。
- 3) 灯油、軽油については大幅に減らすことができなかったと思う。

Ⅶ 当社の取組み

◆工場内の緑地化



◆社内注意書で社員の意識づけ



◆水銀灯からLED灯に変更



◆切りくずの分別



◆電気自動車を配備



VIII 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

1. 環境関連法規等の遵守状況

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

評価日 平成29年3月28日
 評価者 環境管理責任者 小野田 貴彦

法律・条例	遵守事項または規制基準	当社の適用及び対応	遵守評価
騒音規制法 静岡県生活環境の保全等に関する 条例	特定施設の届出	特定施設の届出	○
		コンプレッサー 2台	
		金属プレス機 1台	
	届出内容の変更有無	変更無し	○
	規制基準値の遵守	騒音の測定(市及び自主検査)	○
振動規制法 静岡県生活環境の保全等に関する 条例	特定施設の届出	特定施設の届出	○
	届出内容の変更有無	変更無し	○
浄化槽法	維持管理基準の遵守	維持管理契約の締結	○
		保守点検の実施	○
		定期清掃の実施	○
		法定検査の実施(1回/年)	○
循環型社会形成推進基本法	廃棄物の3R及び適正処理の推進	廃棄物の分別、行政への協力	○
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物の処理	市条例の収集・処理基準の遵守	○
	産業廃棄物の保管	保管基準の遵守、保管場所の表示	○
	産業廃棄物の委託処理	処理業者と契約契約書の締結	○
	マニフェスト管理	マニフェストの交付、保管	○
		D,E票の期間内返却	○
	マニフェスト交付状況の知事報告	11/20までに報告書提出	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に 関する条例	委託先の実地確認と記録の保存	現地確認記録の保管	○
家電リサイクル法	指定家電の廃棄時	リサイクル料金の支払(廃棄時)	該当なし
自動車リサイクル法	自動車の廃車時	リサイクル料金の支払(廃車時)	該当なし
リサイクル法	適正廃棄	パソコン、二次電池廃棄時	該当なし
資源有効利用促進法	指定再資源化製品のリサイクルへの 協力	メーカー回収への協力(パソコン、小 型二次電池等の廃棄時)	○
環境基本法	自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	○
地球温暖化対策推進法	自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	○
省エネ法	省エネの自主努力	省エネ型機器への切替え	○
消 防 法	少量危険物の保管	消防署への届出	○
	火災予防	消火設備の定期点検・燃え難い油へ変	○
PRTR法	対象物質の管理、報告	SDSの保管	○
フロン排出抑制法	エアコン・冷凍(冷蔵)機器の廃棄時	フロン回収業者への引き渡し	該当なし
その他	取引先からの環境要求基準	明電舎からのグリーン調達基準書を 順守	○

2. 違反、訴訟等の有無

当社に対し関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした

Ⅸ 代表者による全体評価と見直し結果

平成27年12月から平成28年11月までの取組について、期間中の環境目標の達成状況及び、環境活動計画の実施状況等について評価を行った。

その結果、売上も伸び良好な結果が得られたと思う。まだ課題は多いが、電力や燃料の削減により、二酸化炭素総排出量については、目標を上回ることができた。

前年度は3か月という短い運用期間であったが、今年度、初めて1年間、エコアクション21を運用してみて、有意義であると実感できた。

今後も従業員の意識改革を進め、目標未達成の項目については、特に注力し、運用していきたいと思う。

平成29年3月30日

株式会社 山下機械

代表取締役社長 山下 勉

環境上の緊急対策

〈緊急時対策〉

想定される環境に於ける緊急事態について、環境への影響を最小限に食い止めること・内外への連絡を円滑に行うこと・可能な範囲で事前に想定、準備すること。また、定期的にその訓練を行う。
更に、緊急事態の発生や、訓練の後、対応の評価と改善策を行う。

想定のパターン	想定される緊急事態	原因	対応策
パターン 1	廃プラスチック置場からの発火	自然発火	<ul style="list-style-type: none"> ・置場の整理・整頓 ・消火器の設置

訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
2016/11/7	廃プラスチックの火災	自然発火	<ul style="list-style-type: none"> ・整理・整頓の確認 ・消火器を目立つようにする
参加者		全社員	
<p>※評価と改善策</p> <p>廃棄物周辺は日常的に整理・清掃は心がけていたが、思わぬ悪天候により、廃棄物用シートが捲れてしまい廃棄物が、飛散していた。周辺に火の元が無いことは確認したが、想定外の引火も考えられるため、迅速に片付けた。土地柄か、強風が頻繁にある為、日常の業務内でも迅速に対処できるよう社員に呼びかけた。</p>			

環境コミュニケーション受付表

作成・管理担当:

NO.	情報 入手日	情報 種類	通報者	通報方法	住所	内容	回答の 必要性	対応内容
					連絡先			
1	/	対策・苦情		電話・メール ()		クレーム等はありませんでした。	必要・不要	
2	/	対策・苦情		電話・メール ()			必要・不要	
3	/	対策・苦情		電話・メール ()			必要・不要	
4	/	対策・苦情		電話・メール ()			必要・不要	
5	/	対策・苦情		電話・メール ()			必要・不要	

問題の是正及び予防処置

記録日 2017/3/28
 担当者 小野田 貴彦

	日付	対象項目	原因	是正及び予防処置
1	3月28日	ガソリン使用料目標満たず	仕事量が増加した為、納品回数や、取引先への移動が増えてしまった。	移動する際、電気自動車の活用などで、ガソリン使用料を減らすようにする。
2	3月28日	水使用量目標満たず	仕事量増加により、洗浄回数や、機械に用いるクーラント（水）の量が増えてしまった。	クーラントの補給はしかたないので、手洗いなどで、引き続き節水を心掛ける。
3	3月28日	産廃量目標満たず	機械の追加により、部品購入や備品購入にともない発生する産廃や、紙類などのゴミが増えてしまった。	ウエス等は再利用し、産廃を減らしているので、様子を見たい
4				
5				